

秋の叙勲

各界で顕著な功労のあった方を表彰する「2008年秋の叙勲」受章者の発表があり、市内からは元双海町議会議長の岡田幸茂さんが旭日双光章を、元双海町消防団団長の向井宏吉さんが瑞宝単光章を受章されました。

旭日双光章

岡田 幸茂さん(双海町高岸)



瑞宝単光章

向井 宏吉さん(双海町高岸)



危険業務

従事者叙勲

警察官ら危険性の高い業務に従事した方を対象とする「第11回危険業務従事者叙勲」受章者が発表され、市内からは、元県警視の植木義一さんが瑞宝双光章を、元県警部の三好忍さんが瑞宝単光章を受章されました。

瑞宝双光章

植木 義一さん(下吾川)



瑞宝単光章

三好 忍さん(下吾川)



高齢者叙勲

旧伊予市議会議員として、長年にわたり地方自治に多大な功績を残されたとして、高橋桂さんが「高齢者叙勲」旭日単光章を受章されました。

旭日単光章

高橋 桂さん(上野)



このたび受章された皆様のご功績、ご功績に対し、心から敬意を表し、晴れの受章をお喜びいたします。

中学生「税についての作文」

伊予市長賞を受賞

租税教育の推進を図るため、全国納税貯蓄組合連合会と国税庁が主催する中学生の「税についての作文」において、港南中学校3年の富永真裕子さんが伊予市長賞を受賞しました。受賞となった作文を紹介します。

「税金についての問題点」

富永 真裕子さん(港南中3年)

なぜ税金を払わなければならないのか。私はずっと疑問に思っていました。そして、今回、この税についての作文を書くにあたって、学校からもらったいくつかの資料を見て初めて「税」を少し詳しく知ることができました。

教育費、警察、消防費、医療費、ゴミ処理費用など、さまざまなお金に税金は使われていました。それらはすべて私たちにとってなくてはならないものです。私はこの豊かな生活を維持していく上での税金の大切さを強く感じました。そんな中で国民年金や税金などをきちんと納めない人が多くいるのはなぜだろう、と思いました。

そこで私なりに考えてみました。そして、その私の考えは、税金の滞納者は税金を軽くみているといつこととです。税金がどのように使われているか、そして、どれだけ自分の生活に影響しているかを知れば、滞納者は減ると思

います。

以前の私のように、税金についての知識が全くない人が大人になり、規則だから税金を払っているというのではないでしようか。さきほども述べた通り、このような税金の無知が滞納者を生み、税金の大切さを忘れてしまっている理由だと思っています。そして税金がどのような仕組みでどのように使われているか、税金を払っている本人たちが知ることは当然のことだと思っています。

しかし、税金の仕組みは複雑そうだな近寄りたいたいということも事実だと思えます。母に税についての質問をしたところ「よくわからない」と言っていました。私も授業で税の種類などを少し教わりましたが、たくさん漢字が並びそれは難しく、あまり頭に入りませんでした。

だから、税金を国民から預かり、使う側の国は、国民が税金について知る

機会を増やす必要があると思います。さらにそれは国民にとって分かりやすく明確なものでなければなりません。先日、ニュースで職員が多額の税金を横領した事件を目にしました。国民が一生懸命に働いたお金ののに信じられないと思いました。

また、税金で無駄な施設を建て、さらに赤字経営になっていたりというニュースも聞いたことがあります。こんなことはあってはならないことだし、心からなくなってほしいと思いました。

税金。それはとても大切な重要なものです。それゆえに払う側、使う側両方に問題は多くあります。そんな中でも正しい道からそれず、この多くの問題が解決する日がくることを信じていると思います。

愛媛県緑化等功労者

県内で、造林・緑化において顕著な功績があり、ほかの模範とみられる個人又は団体に贈られる「愛媛県緑化等功労者表彰」の林業振興部門で、市内から中山高等学校(特用林産科)、株式会社プロシーズ、袋田芳光さんが選ばれました。

中山高等学校(特用林産科)

特用林産専門学科の特性を生かした教育を通して、地域社会に貢献できる人材育成を行い、地域の農林業の振興、山村の活性化に大きく貢献していることが評価されました。



株式会社プロシーズ

山村の過疎化・高齢化が進む中、健全な森林の造成を行い、また若者の技術訓練や研修を積極的に支援するなど雇用の安定・定住促進に大きく貢献していることが評価されました。



袋田 芳光さん(双海町串)

昭和54年以降、森林組合役員として地域の森林・林業に深く関わり、また独自で長伐期保存林を設定するなど、森林の多面的機能に配慮した取り組みを行っていることが評価されました。

